

町の資産や負債はどうなっているの？

町では財政状況を収入と執行(支出)の形で公表しています。ここではバランスシートを用いて財政状況をお知らせします。

●バランスシートとは？

バランスシートとは、民間企業で言う「貸借対照表」と呼ばれるもので、自治体の会計システムは、1年間の現金の出入りだけを記録するものですが、これだけでは、今までに整備されてきた資産の現在高や、その資産を形成するためにどのくらいのお金が使われたのかがわかりません。そこで、バランスシートを作成して、異なった視点からの財政分析を行い、その内容をお知らせするものです。

《町のバランスシート》

【借 方】

【貸 方】

【資産】	331億円	【負債】	(うち公共資産分 70億円) 90億円
町民サービスを提供するために保有している財産		将来の世代の負担となる債務(町の借金など)	
■ 公共資産 303億円 公共施設など(道路、公園、学校、役場庁舎、公共施設、ごみ処理施設など)、基本的に売却できない資産		■ 固定負債(地方債の残高など) 82億円 支払時期又は返済期間が1年を超える長期に渡る負債	
■ 投資等 17億円 長期的な運用を行う基金や貸付金など		■ 流動負債(翌年度償還予定額) 8億円 1年以内に支払わなければならない負債	
■ 流動資産 11億円 短期的な運用を行う基金など		【純資産】 (うち公共資産分 233億円) 241億円	
		現在までの世代が負担した金額	
		■ 国の補助金など 39億円	
		■ 県の補助金など 6億円	
		■ 町単独の財源(税金など) 196億円	
計 331億円		計 331億円	

●バランスシートから何がわかるの？

これまでの世代が担ってきた負担と、これからの世代が将来担う負担の割合が分かります。

町の公共資産《303億円》に対し、負債以外の資金(純資産のうち公共資産《233億円》)で調達した割合は76.9%で負債に頼らずに公共資産が形成された割合が多いことがわかります。

世代間の公平性という面では、将来利用する世代に負担を求めるという考え方もありますが、適正な財政運営のためには負債をできるだけ増やさないよう心掛け、将来世代への負担を増やすことのないようにする必要があります。

今後もバランスシートを継続的に作成し、適正な財政運営を維持できるよう分析に努めてまいります。

※なお、町では「バランスシート」のほか、「行政コスト計算書」「資金収支計算書」「純資産変動計算書」についても作成しています。詳しくは、町ホームページから閲覧できます。

町民1人当たりになると

(平成24年3月1日現在 人口 32,884人で算出)

【資産】 100万円	【負債】 27万円
	【純資産】 73万円

◎問い合わせ 財政課 ☎内線 216